

東京栄養サミット2021の5つのテーマ

1 健康：栄養のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)への統合 Integrating nutrition into Universal Health Coverage

栄養は疾病の予防・治療に重要である。そのため、各国の保健政策・施策や保健サービス提供体制に栄養サービスを含める必要がある。このようにして栄養改善による健康増進を図り、UHCの達成を推進する。

【取組の例】政府／ドナー：保健サービス提供体制への基本的な栄養サービス(栄養不良の早期発見のための検査、母乳育児の支援、乳幼児へのビタミンA補給等)の効果的な導入、栄養関連の保健製品へのアクセス向上、栄養に関する保健人材の育成等

2 食：安全で持続可能かつ健康的な食料システムの構築 Building food systems: Promoting safe, sustainable and healthy diets that supports people and planetary health

栄養改善には食環境を整える必要がある。そのためには、安全で持続可能かつ健康的な食を推進する食料システムの構築が重要。世界の食料生産・消費のあり方、気候に配慮した農業等を通じて人と地球の健康を目指す。

【取組の例】民間企業：消費者における栄養価の高い食品の需要創出とアクセス向上、職場における栄養改善の促進、温室効果ガス排出量などに配慮した持続可能かつ健康的な食品の生産促進、食品廃棄の削減に向けた取組の促進等

3 強靭性：脆弱な状況下における栄養不良対策の促進 Promoting resilience: Addressing malnutrition effectively in fragile and conflict affected contexts

紛争や気候変動等の影響を受けた脆弱な状況下では栄養不良が課題。そのためには、妊産婦や乳幼児などの最も立場の弱い人々に対する効果的な栄養不良対策を促進することが重要。緊急人道支援と開発援助間での調整も必要。

【取組の例】国際機関：消耗症や発育障害の予防・治療の拡充、緊急的ニーズ及び長期的ニーズへの対応のためのドナー間(緊急人道支援と開発援助)での調整と責任分担の明確化、紛争や干ばつ等のリスク情報に基づいた栄養危機への備えの強化等

4 説明責任：データに基づく説明責任の促進 Promoting data-driven accountability

効果的な栄養改善の成果を着実に得るために、質の高いデータ収集及びエビデンスに基づいた進捗状況の測定が重要。透明性の高い説明責任メカニズムの構築も期待されている。

5 財源：栄養のための資金調達の推進 Financing for nutrition: Securing new investment and driving innovation in nutrition financing

栄養改善のための財源の確保が重要。そのためには、栄養のための国内資金の増加、予測可能なドナー資金の増大、革新的かつ触媒的な資金調達モデルの構築等が必要。